

教育普及事業について

※集計数については令和2年7月～1月まで

1. 学校との連携

(1) 学校への対応

①来館件数

64件 1,631人（市内31件 922人、市外33件 709人）

②館内・館外講師利用件数

館内講師： 19件 728人（市内：15件 541人、市外：4件 187人）

館外講師： 10件 696人（市内小学校9件、市内中学校1件）

③来館・館内講師内訳

	市内学校（件）		市外学校（件）	
	来館	館内講師	来館	館内講師
小学校	17	7	8	3
中学校	2	1	17	1
高等学校	2	3	8	0
大学等	10	4	0	0
その他	0	0	0	0

※大学等は高専、専門学校を含む。その他は幼稚園、特別支援学校、児童福祉施設等。

(2) 大学との連携

①キャンパスメンバーズの利用状況

団体利用件数：6校11件169人（東北大学、宮城教育大学、尚絅学院大学、聖和学園短期大学、宮城学院女子大学、宮城大学）

個別利用人数：677人

（7月121人、8月35人、9月0人、10月109人、11月206人、12月63人、1月152人）

館内講師：3校4件127人（東北大学、宮城大学、聖和学園短期大学）

②博物館実習 →中止

③「まちなか博物館講座」＜東北工業大学連携事業＞

日時：令和2年10月24日（土）～11月23日（月・祝）

内容：「仙台藩の絵画－お殿様と絵師たち－」と題し、特集展示「仙台藩の絵画」に関連した仙台藩に関わる絵画の紹介を東北工業大学YouTubeチャンネルで配信

講師：寺澤慎吾（当館学芸員）

(3) 学校教員・教育機関への対応

①第3回ミュージアムセミナー（第1回・2回は中止）

日時：令和2年10月17日（土）10：00～11：30

内容：特集展示「仙台藩の絵画」の見どころ解説及び展示室見学

参加者：教職員8人

講師：寺澤慎吾（当館学芸員）

②小中学校図工・美術科研修 →中止

③社会教育施設連携研修【博物館・仙台城見聞館】→中止

④博物館活用研修 →中止

⑤県小中学校社会科研修会 →中止

⑥中学生の職場体験実習

期間：令和2年11月10日（火）～12日（木） 3日間

対象：人来田中学校（3人）

内容：学芸員模擬体験、学習プログラム体験、館内清掃作業等

講師：博物館指導主事、博物館学芸員等

2. 講座・イベント等

(1) 一般向け館内・館外講師

館内講師 1件 30人（特集展示解説…新型コロナウイルスのため通信講座に変更）

館外講師 10件 566人（市民センター等、団体の要望に応じた内容）

(2) しろ・まち講座 41（5/24、8/1の講座は中止）

日時：令和2年11月7日（土）13:30～14:30

内容：特集展示「仙台藩の絵画」の見どころ解説及び展示室見学

参加者：15人

講師：寺澤慎吾（当館学芸員）

(3) イベント

①夏休み工作教室 →中止

②仙台っ子歴史探検隊 →中止

③変身タイム →中止

(4) 仙台市博物館夏休みサポートプロジェクト

期間：令和2年7月23日（木）～8月30日（日）

内容：①「スタディシート」「歴ネットシート」「まとめ用新聞用紙」の配布（展示入口付近）

②博物館ホームページ「しらべてみよう」コーナーの紹介やまとめ用新聞用紙と新聞作成例の掲載

スタディシート配布枚数：6種 1,885枚

新聞用紙配布枚数：3種 759枚

*8/9から臨時休館となったため①のワークシート配布は8/9で終了

3. その他

(1) 他機関・他施設との連携など

①PTA フェスティバル〈生涯学習課、仙台市PTA協議会との連携〉

今年度はPTA協議会特設ホームページ上で開催（期間：11/8～12/13）。博物館は館ホームページ「おうちで楽しむ展覧会」「チャレンジ！おうちで楽しむ博物館」「おうちで楽しむYouTube配信」の紹介とリンク先を掲載するという形で参加。

②青葉チャレンジキッズ in 博物館〈青葉区中央市民センターとの連携〉

日時：令和2年10月25日（日）9:30～11:40

内容：開会式でのガイダンスおよびオリエンテーリングでの指導・助言

参加者：青葉区内小学生親子、ジュニアリーダー、嘱託社会教育主事 合計96名

③歴ネット・SMMA クロスイベント「歴ネットクイズラリー」

期間：令和2年9月1日（火）～令和3年1月31日（日）

※博物館は臨時休館明けの令和2年10月6日（火）～

会場：博物館、仙台市富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）、仙台市縄文の森広場、瑞鳳殿

仙台城見聞館、仙台文学館、仙台市歴史民俗資料館、仙台市戦災復興記念館
史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイド施設

内容：歴ネット各館（9館）展示室内にあるクイズに答えてスタンプを集める。4館・8館以上達成者にはオリジナルグッズをプレゼントする。

④歴ネット・SMMA クロスイベント「仙台の伝統的な門松を復元」

期間：令和2年12月15日(火)～令和3年2月14日(日) ※展示期間は館ごとに設定

会場：博物館、仙台市富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）、仙台市縄文の森広場、瑞鳳殿、
仙台文学館、仙台市歴史民俗資料館、仙台市戦災復興記念館、史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイド施設

研修：「ケンダイ（しめ縄）作り」令和2年12月4日（金）13:00～16:00 仙台市縄文の森広場

⑤SMMA 研修会「動画の制作—コロナ禍における仙台市科学館の実践から—」

日時：令和2年11月13日（金） 14:00～15:30

会場：仙台市科学館 2階特別展示室

内容：コロナ禍において、全国各地のミュージアムが You Tube 等で情報発信を行っていることを踏まえ、動画の撮影、編集、配信の方法について、仙台市科学館の実践例から学ぶ。

参加者：SMMA 参加館、歴ネット参加館職員 合計 37名

(2) コロナ禍への対応

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント・講座等中止としたものが多くあったが、博物館のガイドラインに従い、可能なものは新型コロナウイルス感染症対策を十分講じた上で実施した。

来館が難しい状況も考慮し、児童生徒の学習へ役立てもらうために博物館ホームページの充実を図った。博物館ホームページに「チャレンジ！おうちで楽しむ博物館」として、児童生徒が自宅で楽しみながら取り組める「もんきりがた遊び」や郷土玩具づくりの紹介、歴史に関するクイズを掲載した。また「調べ学習サポートプロジェクト」の一環として、児童生徒の調べ学習に役立つような情報を紹介したり、ワークシートをダウンロードできるようにしたりした。教員対象の研修もほぼ行うことができなかったため、教職員対象の資料「博物館の活用と学校教育との連携について」を掲載し、これらの活用を市内学校へ呼び掛けた。

チャレンジ！おうちで楽しむ博物館

「チャレンジ！おうちで楽しむ博物館」のページでは、おうちでも楽しめるクイズや工作、遊びなどをしょうかいしています。きょうみのあるものにぜひ、チャレンジしてみてください！

★クイズ用紙や工作の作り方、型紙などもダウンロードできます。

▶▶「チャレンジ！おうちで楽しむ博物館」へ



おうちミュージアムもぞいてみよう！

「おうちミュージアム」では、いろいろなミュージアムがあつまつて、子どもたちが家のなかで楽しく学べるさまざまなアイデアを伝えています。こちらぜひみてね！



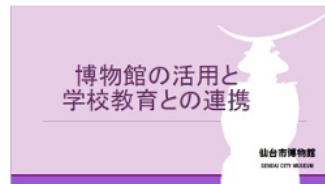
博物館ホームページ「キッズコーナー」より

「博物館の活用と学校教育との連携」について

令和2年度に予定していた「博物館活用研修」「社会教育施設連携研修」等の各種研修の多くが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。研修は実施できませんでしたが、より多くの先生方へ博物館の活用等について知っていただきたいという思いから資料として「博物館の活用と学校教育との連携」を掲載しました。

ぜひご覧になって、今後の学習や見学の際にお役立てください。

- **PDF** 博物館の活用と学校教育との連携 (PDF : 1,497KB)



博物館ホームページ「学校の先生方へ」より